

令和6年度

入学者選拔要項



令和5年7月

宮崎県立看護大学

教育理念・目的

生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育成し、かつ深く高度な専門知識・技術を修得させることにより、看護の果たすべき役割を追究し、社会の幅広い分野において、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成するとともに、看護学及び関連する学問領域の発展に寄与することを教育の目的としています。

教育目標

1. 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己の持てる力を差し出せる温かい心を伸ばします。
2. 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。
3. さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得して個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。
4. 看護専門職者としての誇りと責任感を持ち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。
5. 生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を育みます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学は、教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。

- 1 人々の健康と生活に関心を持ち、自らも生活を整える力を身につけようとしている人
- 2 積極的に他者と関わり、相手の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを表現できる人
- 3 多様な個性やさまざまな考え方を尊重し、まわりに感謝し、みんなで伸びていこうとする人
- 4 社会の動向への関心や未知への好奇心を持ち、新しいことを受け入れて変化できる人
- 5 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に学び、考える姿勢をもつ人

I 募集人員

学部学科	入学定員	募集人員			
		一般選抜		学校推薦型選抜 (一般推薦・地域推薦)	社会人 選抜
		前期日程	後期日程		
看護学部 看護学科	100名	50名	10名	40名 (うち地域推薦は最大6名)	若干名

II 一般選抜

1 出願資格

令和6年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

注) 上記(3)の「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」に該当する者は、次のとおりです。

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- カ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者(あらかじめ本学が行う入学資格審査により、入学資格の認定を受けることが必要。8ページ「V 個別入学資格審査」参照。)

2 選抜方針

総合的な基礎学力を評価する大学入学共通テストと、個別学力検査等により選抜します。

個別学力検査等においては、自分の言葉で自身の考えを具体的にわかりやすく表現できる力、他者に関心を持ち、その言葉に耳を傾け、相手の置かれた立場を理解したり、多様な人々と協働して学ぶ態度、大学で学ぶために必要な基礎学力、未知への好奇心、社会への関心があるかを評価します。

3 選抜方法

大学入学共通テスト、個別学力検査等（前期日程、後期日程とも小論文及び面接）の成績及び調査書で、アドミッション・ポリシーの視点から総合判定します。

小論文では、読解力、思考力、判断力及び表現力を評価します。

面接では、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、協調性及びコミュニケーション力について評価します。

4 試験科目等（前期日程・後期日程共通）

(1) 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目

(5教科6科目又は5教科7科目)

教科	科目	備考
国語 【1科目】	「国語」	
地理歴史 / 公民 【1科目】	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理, 政治・経済」から1科目	左記の科目から2科目受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用
数学 【2科目】	「数学Ⅰ・数学A」（必須） 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	
理科 【2科目】 又は 【1科目】	ア：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目選択 又は イ：「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目選択	1)左記アに記載された科目を2科目受験した場合はその合計得点を1科目分として合否判定に利用 2)左記イに記載された科目を2科目受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用 3)左記アに記載された2科目と左記イに記載された1科目の両方を受験した場合、高得点のいずれかを合否判定に利用
外国語 【1科目】	「英語（リーディング及びリスニング）」	

※ 大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験していない者は本学の受験はできません。

(2) 個別学力検査等

試験科目は小論文と面接とし、小論文の試験時間は90分とします。

日程	試験区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計
前期日程	大学入学 共通テスト	200	100	200	100	200	-	-	800
	個別学力 検査等	-	-	-	-	-	200	○	200
	計	200	100	200	100	200	200		1,000
後期日程	大学入学 共通テスト	200	100	200	100	200	-	-	800
	個別学力 検査等	-	-	-	-	-	200	○	200
	計	200	100	200	100	200	200		1,000

※ 「面接」については、総合判定資料として合否判定に用います。

5 実施日程

出願期間	選抜期日		合格発表
令和6年 1月22日(月) ～ 2月2日(金)	前期日程	令和6年2月25日(日)	令和6年3月6日(水)
	後期日程	令和6年3月12日(火)	令和6年3月21日(木)

6 その他

入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

Ⅲ 学校推薦型選抜

1 一般推薦

本学の建学の目的の一つに、宮崎県内における優れた看護職者の育成、確保があります。

そのため、学校推薦型選抜（一般推薦）は、「宮崎県内の看護実践及び教育・研究に携わりたいという情熱と意欲を持った看護職者の確保」を目的としています。

1) 出願資格

次のすべてに該当し、高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者とします。

なお、各学校からの推薦は、地域推薦を除き最大5名とします。

- (1) 宮崎県内の高等学校又は中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校在学中の学習成績が優秀であり、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者
- (3) 看護学に興味を持ち、本学卒業後、宮崎県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者
- (4) 合格した場合、本学に入学することを確約できる者

2) 選抜方針

高等学校を卒業見込みで、大学卒業後は看護職者として宮崎県内の保健・医療・福祉に貢献する強い意志を持つ人を対象に実施する試験です。

小論文、面接、提出課題、調査書及び推薦書により、宮崎県内の保健・医療・福祉に貢献する強い意志、自分の言葉で自身の考えを具体的にわかりやすく表現できる力、他者に関心を持ち、その言葉に耳を傾け、相手の置かれた立場を理解したり、多様な人々と協働して学ぶ態度、大学で学ぶために必要な基礎学力、未知への好奇心、社会への関心があるかなどを評価します。

3) 選抜方法

小論文、面接、提出課題、調査書及び推薦書で、アドミッション・ポリシー及び一般推薦の目的という視点から総合判定します。

小論文では、読解力、思考力、判断力及び表現力を評価します。

面接では、宮崎県内の保健・医療・福祉に貢献したいという意志と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、協調性及びコミュニケーション力について評価します。

提出課題、調査書及び推薦書は面接時の参考とします。

※ 大学入学共通テストの受験は必要ありません。

4) 試験科目等

試験科目は小論文(100点)と面接(20点)とし、小論文の試験時間は90分とします。

5) 実施日程

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和5年 11月1日(水)～7日(火)	令和5年11月18日(土)	令和5年12月8日(金)

2 地域推薦

本学の建学の目的の一つに、宮崎県内における優れた看護職者の育成、確保があります。

そのため、学校推薦型選抜（地域推薦）は、看護職者の確保に特別の対策が必要な市町村との連携のもと、「推薦を受けた地域の看護職に就き地域住民の健康を担い、将来リーダー的役割を果たすことができる優れた看護職者の育成と確保」を目的としています。

1) 出願資格

次のすべてに該当し、宮崎県内の市町村長及び高等学校長（中等教育学校長を含む。）が責任を持って推薦できる者としします。なお、各学校の各市町村への推薦は卒業生を含め最大1名としします。

- (1) 推薦市町村内に看護職者として4年以上就業する強い意志を有する者
- (2) 宮崎県内の高等学校又は中等教育学校を令和5年3月に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者
- (3) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史・公民」の学習成績の状況が4.3以上である者
※ 学習成績の状況の計算方法は次による。
{国語+数学+外国語+理科+（地理歴史+公民）×1/2} ×1/5
指定教科毎に算出した各教科の学習成績の状況を科目名で表示した。
（かけ算後の数値はすべて小数点以下第2位を四捨五入）
- (4) 合格した場合、本学に入学することを確約できる者

※ 各市町村からの推薦は制限を設けませんが、本学への合格者は各市町村最大1名としします。

※ 地域推薦の募集人員は最大6名であり、県北部、県中部、県西南部のブロックごとに各2名程度の合格を基本としますが、入試成績によっては、推薦しても合格者がいない市町村があるほか、ブロック内に合格者がいない場合もあります。

（注）県 北 部：延岡市、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

県 中 部：宮崎市、西都市、国富町、綾町、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町

県 南 部：都城市、日南市、小林市、串間市、えびの市、三股町、高原町

※ 地域推薦出願者は、一般推薦との併願はできません。

2) 選抜方針

宮崎県内の高校を卒業見込みの人、または前年度に卒業した人で、推薦を受けた地域の看護職に就き、地域住民の健康を担い、将来リーダー的役割を果たしたいという強い意志を持つ人を対象に実施する試験です。

小論文、面接、提出課題、調査書及び高校・市町村からの推薦書により、推薦を受けた地域の保健・医療・福祉に貢献したいという意志、自分の言葉で自身の考えを具体的にわかりやすく表現できる力、他者に関心を持ち、その言葉に耳を傾け、相手の置かれた立場を理解したり、多様な人々と協働して学ぶ態度、大学で学ぶために必要な基礎学力、未知への好奇心、社会への関心があるかなどを評価します。

3) 令和6年度地域推薦参加市町村

ブロック	市町村名	担当部署	電話番号
県北部	延岡市	健康長寿課 健康支援係	0982-22-7014
	日向市	健康増進課 地域医療推進係	0982-66-1024
	諸塚村	住民福祉課 福祉係	0982-65-1119
	椎葉村	総務課 行政グループ	0982-67-3201
	高千穂町	福祉保険課 社会福祉係	0982-73-1202
	日之影町	総務課 人事・給与係	0982-87-3800
	五ヶ瀬町	総務課 行政グループ	0982-82-1700
県中部	西都市	地域医療対策室	0983-32-1015
	新富町	いきいき健康課 保健予防係	0983-33-6059
	西米良村	国民健康保険西米良診療所	0983-36-1031
	都農町	総務課 総務係	0983-25-5710
県西南部	都城市	健康課	0986-23-2765
	日南市	健康増進課 地域医療対策室	0987-31-1129
	小林市	健康推進課 健康総務グループ	0984-23-0323
	串間市	医療介護課 地域医療介護連携推進室	0987-72-0333
	えびの市	健康保険課 市民健康係	0984-35-1116
	三股町	町民保健課 健康推進係	0986-52-8481

高等学校又は中等教育学校は、学校推薦者を決定後、9月12日(火)までに市町村へ所定の書類を提出し、市町村からの推薦を受ける必要があります。詳細は、8月上旬頃に配布予定の学生募集要項を参照してください。

なお、市町村の推薦人数は各市町村が決定します。市町村によって、出願や推薦の基準を設けている場合がありますので、出願前に市町村担当部署にお問い合わせください。

4) 選抜方法

小論文、面接、提出課題、調査書及び推薦書で、アドミッション・ポリシー及び地域推薦の目的という視点から総合判定します。

小論文では、読解力、思考力、判断力及び表現力を評価します。

面接では、推薦を受けた地域の保健・医療・福祉に貢献したいという意志と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、協調性及びコミュニケーション力について評価します。

提出課題、調査書及び推薦書は面接時の参考とします。

※ 大学入学共通テストの受験は必要ありません。

5) 試験科目等

試験科目は小論文(100点)と面接(80点)とし、小論文の試験時間は90分とします。

6) 実施日程

出願期間	選抜期日	合格発表
令和5年 11月1日(水)～7日(火)	令和5年11月18日(土)	令和5年12月8日(金)

IV 社会人選抜

本学の建学の目的の一つに、宮崎県内における優れた看護職者の育成、確保があります。

そのため、社会人選抜は、「看護学に興味を持ち、社会人としての経験を活かしながら、将来、宮崎県内の看護実践及び教育・研究に携わりたいという情熱と意欲を持った人材の確保」を目的としています。

1 出願資格

次のいずれかに該当し、令和6年3月31日において年齢が満23歳以上で、社会人の経験（アルバイト、家事・家業従事等を含む。）を5年以上有する者又は有する見込みの者であって、看護学に興味を持ち、本学卒業後、宮崎県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者としてします。

ただし、夜間、定時制、通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校等）に在籍していた期間は社会人としての経験年数に含みません。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者（高等学校入学以前に社会人であった年数を加算することができます。）
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

注) 上記(3)の「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」に該当する者は、次のとおりです。

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規則（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（あらかじめ本学が行う入学資格審査により、入学資格の認定を受けることが必要。8ページ「V 個別入学資格審査」参照。ただし、令和6年3月31日において年齢が満23歳以上であること。）

2 選抜方針

大学入学資格を持ち、5年以上の社会人経験があり、看護学に興味を持ち、将来、宮崎県内の看護実践及び教育・研究に携わりたいという情熱と意欲のある人

を対象に実施する試験です。

小論文、面接、提出課題、調査書及び推薦書により、社会人の経験が学習や学友へよい影響をもたらすものであるか、宮崎県の保健・医療・福祉に貢献したいという強い意志、自分の言葉で自身の考えを具体的にわかりやすく表現できる力、他者に関心を持ち、その言葉に耳を傾け、相手の置かれた立場を理解したり、多様な人々と協働して学ぶ態度、大学で学ぶために必要な基礎学力があるかなどを評価します。

3 選抜方法

小論文、面接、提出課題、調査書及び推薦書で、アドミッション・ポリシー及び社会人選抜の目的という視点から総合判定します。

小論文では、読解力、思考力、判断力及び表現力を評価します。

面接では、社会人の経験が学習や学友へよい影響をもたらすものであること、宮崎県内の保健・医療・福祉に貢献したいという意志と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、協調性、コミュニケーション力について評価します。

提出課題、調査書及び推薦書は面接時の参考とします。

※ 大学入学共通テストの受験は必要ありません。

4 試験科目等

試験科目は小論文(100点)と面接とし、小論文の試験時間は90分とします。

「面接」については、総合判定資料として合否判定に用います。

5 実施日程

出願期間	選抜期日	合格発表
令和5年 11月1日(水)～7日(火)	令和5年11月18日(土)	令和5年12月8日(金)

V 個別入学資格審査

一般選抜及び社会人選抜において、「出願資格」(3)の「注キ」(一般選抜：1ページ、社会人選抜：7ページ)により出願する場合は、出願前に本学において個別の入学資格審査により認定を受ける必要があります。

資格審査を希望する者は、下記の申請期間内に申請手続きをしてください。なお、申請手続きについては、必ず事前に本学事務局総務課教務学生担当までお問い合わせください。

[申請期間]

令和5年8月14日(月)から 令和5年8月25日(金) 午後5時まで

※ 8月19日(土)、20日(日)は、窓口での申請受理は行いません。

ただし、大学入学共通テスト出願の際、他の大学の入学資格審査を受けた者で、その後、志望大学を本学へ変更する者に限り、令和6年1月15日(月)から1月19日(金)午後5時まで申請を受け付けます。

VI 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、本学に出願する前に大学事務局総務課教務学生担当まで連絡し、事前に相談してください。

VII 学生募集要項の配布

- 1 本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項により必ず確認してください。

なお、学生募集要項の配布は、学校推薦型選抜及び社会人選抜は8月上旬、一般選抜は10月上旬から行う予定です。

- 2 学生募集要項、大学案内の請求方法

テレメールを利用して請求する方法と、本学へ直接請求する方法があります。

なお、学校推薦型選抜及び社会人選抜の学生募集要項は、テレメールでは請求できませんので、本学へ直接請求してください。

詳しくは、本学ホームページ(<https://www.mpu.ac.jp/>)を御覧ください。

- (1) テレメールを利用して請求する方法（一般選抜学生募集要項と大学案内のみ）

- ① インターネット又はQRコードからテレメールのサイトにアクセスしてください。
本学ホームページにもリンクがあります。



インターネット	QRコード
<p>https://telemail.jp</p> <p>※ パソコン・スマートフォン・携帯電話各社共通アドレスです。</p>	 <p>※ 対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。 資料請求番号の入力は不要です。</p>

- ② 御希望の資料の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金	発送開始時期
大学案内	567902	180円	随時発送中
一般選抜学生募集要項	587902	215円	10月上旬予定
一般選抜学生募集要項と大学案内	548002	250円	

- ③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。

* 16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。

* 通常は発送日のおおむね3～5日後のお届けになります。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。

* 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法を御確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。

上記(1)についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102(9時30分～18時)

(2) 本学へ直接請求する方法

本学へ直接来学されるか、又は郵送により請求してください。

来学される場合は、Ⅷの募集要項請求先をお訪ねください。

郵送の場合は、封筒の表に「〇〇学生募集要項請求」（一般選抜か学校推薦型選抜及び社会人選抜かを明記）と朱書きし、返信用封筒（角型2号封筒に返送先の住所・氏名を明記し、250円分の切手を貼付したもの。）を同封して次の募集要項請求先にお申し込みください。

Ⅷ 問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

宮崎県立看護大学事務局総務課教務学生担当

〒880-0929 宮崎市まなび野3丁目5番地1

電話 0985-59-7705 FAX 0985-59-7771

ホームページ <https://www.mpu.ac.jp/>

令和6年度入学選抜の実施教科・科目等について

入学選抜の区分等	募集人員	出願期間	学力検査等の日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
				教科	科目名等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史/公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計	
学校推薦 選抜	40名 (うち地域推薦は最大6名)	令和5年 11月1日(水) ～ 11月7日(火)	令和5年 11月18日 (土)	大学入学共通テストは免除する		小論文 面接	実施しない	個別学力検査等							100	20	120
								個別学力検査等									100
社会人選抜	若干名				国語	小論文 面接	実施しない	共通テスト	200	100	200	100	200				800
								個別学力検査等									200
一般選抜	50名	令和6年 1月22日(月) ～ 2月2日(金)	令和6年 2月25日 (日)	○国語 ○世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、倫理、 政治・経済、倫理、政治・経済 から1科目 ○数学Ⅰ・数学A(必須) ○数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学Bから1科目 ○物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学 基礎から2科目 又は ○物理、化学、生物、地学から1科目 ○英語(リーディング及びリスニング) [5教科6科目]又は[5教科7科目]	計	小論文 面接	実施しない	計	200	100	200	100	200				1,000
								共通テスト	200	100	200	100	200				
一般選抜	10名		令和6年 3月12日 (火)		外国語	小論文 面接	実施しない	計	200	100	200	100	200				1,000
								個別学力検査等									200

大学入学共通テストの利用教科・科目について

- ・ 「地理歴史、公民」について、2科目を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用する。
- ・ 「理科」について、基礎を付した科目から2科目を受験した場合は、その合計得点を1科目分として合否判定に利用する。
- ・ 「理科」について、基礎を付さない科目から2科目を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に利用する。
- ・ 「理科」について、基礎を付した科目から2科目と基礎を付さない科目から1科目を受験した場合、高得点のいずれかを合否判定に利用する。
- ・ 大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験していない者の本学の受験は認めない。

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等について

- ・ 外国語(英語)については、リーディング及びリスニングの総点200点を利用する。ただし、大学入試センターがリスニングの受験を免除した者については、リーディングの配点100点を200点に換算して利用する。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱う。

面接について

- ・ 面接(※)については、総合判定資料として合否判定に用いる。



MIYAZAKI
PREFECTURAL
NURSING UNIVERSITY

宮崎県立看護大学

〒880-0929 宮崎市まなび野3丁目5番地1
代 表 ☎ 0985-59-7700
入試担当 ☎ 0985-59-7705
F A X 0985-59-7771
<http://www.mpu.ac.jp/>